

# 2005年度 早稲田矯正保護展



▲法学部石川教授（右端）と藤野ゼミの皆さん



▲関係者、来賓の皆様

▶大隈講堂の会場入口



二〇〇五年度の早稲田矯正保護展が、早稲田大学法学部石川ゼミ、同大学第一文学部藤野ゼミ、同大学広域BBS会、更生保護法人更新会、早稲田更生保護研究会、保護司稲門会の六団体による共同主催、新宿区による後援に加え、法務省矯正局・保護局、東京保護観察所、矯正協会等の関係各団体からも御協力いただき、平成一七年一月、早稲田大学にて開催された。

同展は、一昨年度から二部構成となり、今年度の第一部では、「獄窓記」等の著書や講演活動で知られている山本讓司氏により「塀の中の高齢者・障害者たち」と題した講演が行われ、第二部は、学生が研究した成果等のパネル展示発表であった。同展の目的は、主として学生の視点から理解した矯正および更生保護について、より多くの人々に知ってもらうことにあり、ゼミ活動の中でも重要なものと位置付けている。

二〇〇五年度で一〇回を数えるに至った同展は、当初、早稲田更生保護展として開催され、当時は更生保護がその研究の対象であったが、同展の改称に伴い、研究対象が矯正分野にも広げられ、今年度の第二部の展示では、「刑事施設及び受刑者の処遇等に関する法律」関連のものも多く取り上げられた。